

# STEP 3

# TASK WATCH

## タスクウォッチの使い方 「測定準備編」

タスクウォッチの設定から取り付けまで



お買い上げありがとうございます。取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。

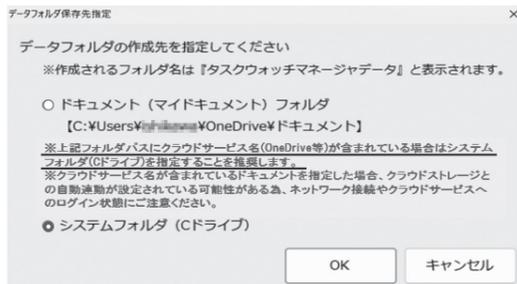


株式会社スリック  
〒399-0034 長野県松本市野溝東1-2-12  
TEL.0263-28-7001 FAX.0263-28-7117  
<http://www.taskwatch.jp/>  
support-box@g-men.jp

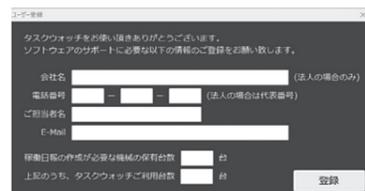


### 1 タスクウォッチマネージャを起動します。

データフォルダ保存先指定画面が表示されます。画面の指示にしたがって保存先を指定してください。



上記注意喚起しておりますが「タスクウォッチマネージャデータ」のフォルダの保存先はCドライブを推奨いたします。  
(OneDrive 等に連動している環境ではアクセス出来ない可能性があります)



### 2 次にユーザー登録画面が表示されます。

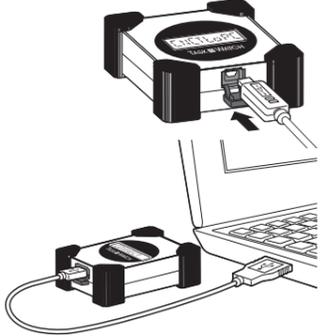
必要事項を入力してユーザー登録をしてください。  
※登録時にはインターネット環境が必要です。



### 3 タスクウォッチマネージャの起動画面



TW-2 の接続



### 4 タスクウォッチ本体とパソコンを付属USBケーブルで接続します。

タスクウォッチ本体が認識できるまで5秒程かかります。この間 液晶表示は消えますが正常動作です。接続が完了するとタスクウォッチ本体の液晶表示は【CNCTtoPC】から【CONNECT】に変わります。



### 5 タスクウォッチマネージャ画面の左上にあるアイコンが「接続完了」と表示されます。



### 6 タスクウォッチマネージャ画面の右下にある「計測準備」のアイコンをクリックしてください。

計測準備



### 7 確認画面の「はい」をクリックしてください。



### 8 計測準備完了画面の「OK」をクリックしてください。タスクウォッチ本体の液晶表示が「READY」に切り替わります。



### 9 タスクウォッチ本体からUSBケーブルを抜いてください。タスクウォッチ本体の液晶表示が「WAITING」になっているかを確認してください。

WAITING



### 10 防滴ケースの切替スイッチが停止の位置になっているか確認してください。LEDは消灯しています。



### 11 防滴ケースの内部にあるL型のUSB操作ケーブルをタスクウォッチ本体に接続します。



※操作ケーブルの挿入が緩いと通信が出来ませんのでご注意ください。



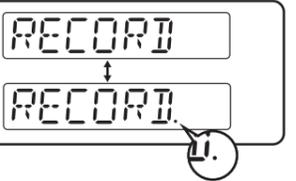
### 12 タスクウォッチ本体裏面のマグネット固定板を防滴ケース底面のマグネットキャッチに設置してください。防滴ケースの蓋を開けてください。



### 13 防滴ケースの切替スイッチを開始の位置に回しLEDが赤色点滅していることを確認してください。



### 14 タスクウォッチ本体の液晶表示がRECORD ↔ RECORD「」に切り替わるかを確認してください。



### 15 マグネット装着が可能な重機の場所に装着してください。取付方向に制限はありません。

#### 液晶画面の表示説明

BATT LOW 電池残量なし (電池交換してください。)

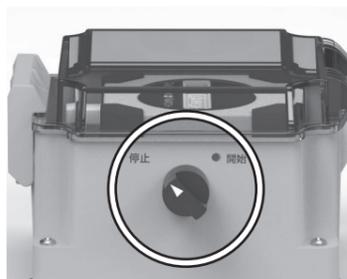
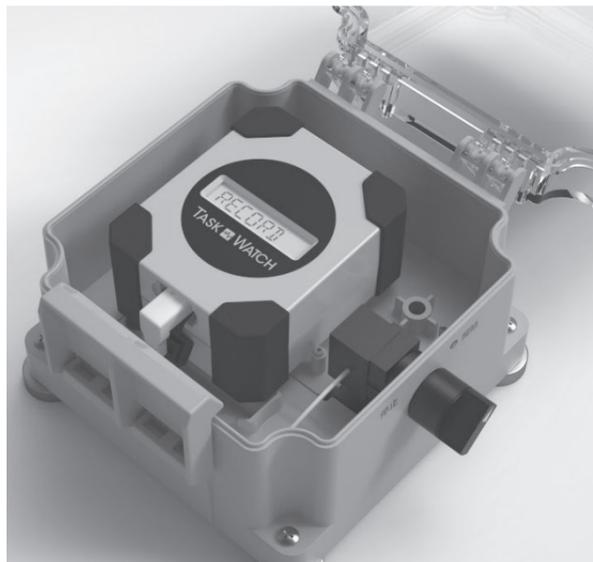
MEM FULL メモリ残量なし (データ取得してください。)

# STEP 4

# TASK WATCH

## タスクウォッチの使い方 「測定記録編」

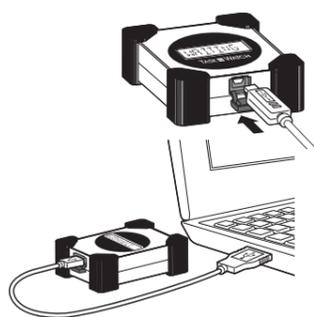
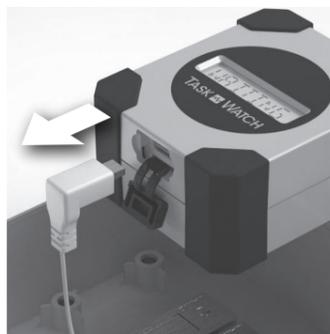
取り外しから測定記録、終了まで



1 タスクウォッチを重機から取り外して手元においてください。

2 切替スイッチを開始から停止に回してから防滴ケースの蓋を開けてください。

3 タスクウォッチ本体の液晶表示が「WAITING」になっているかを確認してください。



4 タスクウォッチをマグネット付底板から外してください。

親指で持ち上げるようにして外してください。

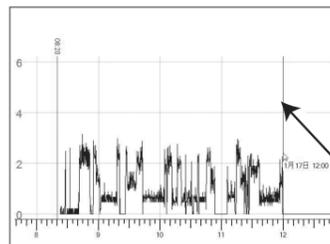
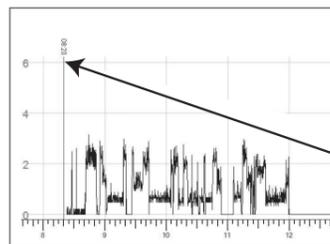
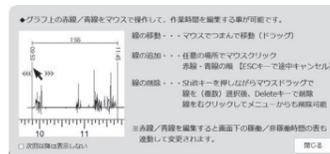
＊注意！  
操作ケーブルを挿んで持ち上げないでください。  
破損する恐れがあります。

5 タスクウォッチのUSBポートに接続されている操作ケーブルのコネクタの部分をつまんで抜いてください。

6 タスクウォッチマネージャを起動します。

7 タスクウォッチマネージャの画面が表示されます。

8 パソコンのUSBポートとタスクウォッチのUSBポートを付属のUSBケーブルで接続します。



9 タスクウォッチマネージャ画面の左上にあるアイコンが「接続完了」と表示されます。

10 接続完了確認後「データ取得日報新規作成」のアイコンをクリックしてください。

11 タスクウォッチからのデータ読み込みが完了しました。「OK」をクリックしてください。

12 グラフ表示作業時間編集画面をよく読んでから閉じてください。

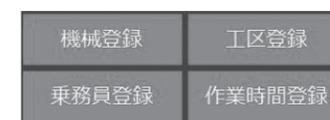
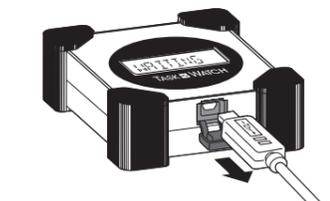
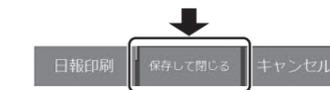
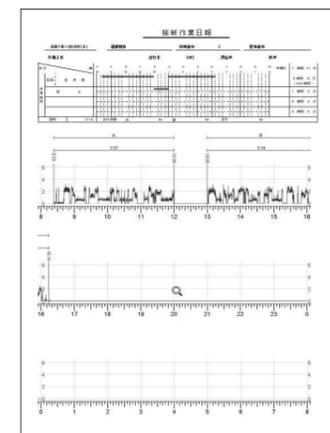
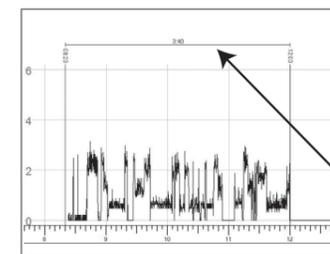
13 任意の稼働波形の開始点をマウスでクリックしてください。

14 赤いマーカーが表示されます。

15 任意の稼働波形の終了点を選びマウスでクリックしてください。

青いマーカーが表示されます。

青いマーカー



16 選択した稼働波形の開始点から終了点までの稼働時間が表示されます。

開始点から終了点までの稼働時間

17 稼働時間等 編集後『日報印刷』をクリックします。

18 『日報印刷』をクリックすると印刷プリンターのダイアログが出ます。プリンターを選択し「OK」をクリックしてください。

19 日報印刷のプレビューが表示されたら印刷をクリックしてください。プレビューが表示されない場合はパソコンのステータスバーに表示されている「Excel」をクリックしてください。

\*Microsoft ExcelがインストールされていないPCではこの画面は表示されません。

20 日報印刷をしたデータを『保存して閉じる』をクリックしてスタート画面に戻ります。

21 『終了』をクリックしてタスクウォッチマネージャを終了します。

22 既に稼働時間を保存したので「はい」を選択します。

23 タスクウォッチマネージャが終了します。

24 タスクウォッチのUSBポートからUSBケーブルを抜いてください。これで一連の操作説明は終わりです。再計測する時はSTEP 3に戻ります。

24 各種登録についてはアプリケーションソフト右上の「ヘルプ」をご参照ください。